

別表第1（第5条関係）

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	西長野交流センター運営管理事業				
担 当 課 係 名	角館総合窓口 課		総務 係	作成者	林崎文男
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	共に参加し行動する市民協働のまち			総合計画のページ
	基本計画	地域づくり活動の推進			
	主要施策	地域づくり活動への支援			104
予 算 費 目	一般 会計	2 款 総務費	1 項 総務管理費	5 目 財産管理費	
事 業 期 間	平成 20 年度 ～ 平成 20 年度		新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市西長野交流センター条例及び同センター管理規程				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託（全部） ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	仙北市民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	仙北市民、他の活動拠点
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	地域づくり活動、文化活動、スポーツ活動、他

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	開館日数	目標	日			359	
			実績	日			181	
			達成度	%			50.4%	
	成果指標	利用人数	目標	人			31,044	
			実績	人			4,381	
			達成度	%			14.1%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)						2,184	
	人 件 費 (B)		—				2,378	
	職 員 数		—				0.30	
	職 員 平 均 人 件 費		—				7,925	
	(A) + (B) 投下コスト						4,562	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源						4,562
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—				25,204
		市民1人当たりのコスト(円)		—				147

【事務事業の今までの成果】

20年度よりの新規事業であるため、どれだけの利用活動があるか様子を見る状態であったが、市民の約14%の利用があった。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	地域市民は周辺敷地内全体を整備し宿泊施設として活用する

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
D	A 現状のまま継続（実施）	旧西長野小学校を利用するの西長野交流センターであるため設備投資及び維持管理費が係りすぎる
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

施設利用頻度にこだわり無く、市策にて売却か、土地、建物を県や他団体に有効利用してもらう

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
D	交流施設としての利用は必ずしも多くなく、維持管理経費も少額ではないことから、施設のあり方や利活用に関する継続的な検討と対応が求められると考えます。

一次評価診断図

